



IGC

No.10

事務局ニュース 第29回IGC事務局

電話：0298-54-3627
ファクス：0298-54-3629

ファストサーキュラー質問状の集計はじまる

IGC-92のファストサーキュラーもその配布が終り、質問状の集計に入る時期となりました。この原稿作成時の7月10日における中間集計によりますと、参加申込み者数は地域別にはアジアがやはり第1位で、次の様な順位となっています（総数1280）。

アジア	468通	オセアニア	48通
北米	376通	アフリカ	29通
欧州	240通	南米	9通
ソ連	101通	中米	7通

全体的に予想通りと言えるかも知れませんが、資源大国のオーストラリアや南ア共和国をかかえるオセアニアやアフリカからの回答が少なすぎると言えましょう。日本の裏側に当る南米からはやはり少なく、ジオホストなどの援助制度が必要なようです。

国別では日本が第1位の予想に反して、最も返事が多かったのは実はアメリカでした。上位10ヶ国は次の通りです。

1)アメリカ	313通	6)イギリス	50通
2)日本	238通	7)ドイツ	48通
3)中国	118通	8)フランス	45通
4)ソ連	101通	9)オーストラリア	41通
5)カナダ	63通	10)イタリー	29通

東欧国は激動のさなかで学会申込みどころではないのかも知れませんが、ルーマニア(1通)、ポーランド(3通)、ブルガリア(5通)、から僅かな反応があったのみでした。アジアにおいても中国を除く社会主義国からの申込みは少なく、ミャンマー、モンゴル、北朝鮮が各1通、ベトナムからは3通でした。

日本、中国を除くアジアでは、次のように中近東よりも地理的に近い東南アジアで参加申込みが少ない傾向がみられます。

〈東, 東南アジア〉		〈南アジア, 中近東〉	
韓国	20通	インド	18通
台湾	8通	サウジアラビア	9通
香港	4通	イラン	8通
タイ	4通	クエート	6通
マレーシア	3通	イスラエル	5通
インドネシア	3通	アラブ首長国連邦	2通

人口が多く鉱産資源の豊富なインドネシアやスズ鉱業が盛んで地盤地下の環境問題をかかえるタイ・マレーシアなどからは、もっと参加申込みがあつてよかったものと思われまふ。またフィリピンからはまだ参加申込みが届いておりませんが、これには船便ファストサーキュラーが到着しなかつた事情があるようで、セカンドサーキュラー以後の発送方法に良い経験をしました。

参加者は大学中心?

参加申込者の職業は、たとえば北米では376名中、52%が大学、30%が国立研・公設試・官庁など、15%が会社、残り3%が個人です。会社からの参加数が少ない点が気懸りですが、直前にどつと申込みが来るのかも知れません。

情況は我が国の場合はもっと著しく、238名の申込み者のなかで、大学65%、国立研・公設試・官庁など15%、会社10%、個人8%です。大学院生の申込みもまだ少なく、本番に向けての幅広い層の参加を期待したいものです。

職場や国の違いは宿舎や巡検の選び方にも表われていて、興味深い傾向が回答紙にはみられます。たとえばホテルのAを選ぶ人は会社の人が多いようです。また、日本式の“Minshuku”やJapanese innも概して評判が良いようです。これらについては最終的な集計を待つて、次号以降にお知らせしましょう。